

NPO法人  
子どもセンター「パオ」  
**Newsletter**

vol.22

新年の挨拶 ●  
日本子どもの虐待防止学会信州大会 ●  
子どもシェルター全国ネットワーク in 福岡 ●



新年の挨拶

副理事長 菱田理

あけましておめでとうございます。

旧年中は、皆様にはたくさんの温かいご支援をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、子どもセンターパオは今年8周年を迎えます。これまでの皆様の温かいご支援に、心から感謝申し上げます。

家庭で、暴力を受け、暴力にさらされて、全てを断ち切れ、さまよい、そして、心と身体に深い傷を負い続けてきた人。そんな人が、より安全で安心できる、ほっとできる場所を作りたい。そんな思いでシェルターを開設してこの間、パオに出会った人たちが、スタッフやパートナー弁護士、そして温かいボランティアスタッフの皆さんの協力の輪に支えられ、明るい笑顔を取り戻し、旅立っていく姿を見ることは、私たちの何よりの宝物だと思っています。

私たちは、社会や家庭の闇をさまようあなたを救い出したい。

冬の凍てついた土の中から、頭をもたげるあのふきのとうのように、土の中の暗闇の中から、新しい芽をだし、光を浴び、エネルギーを一杯に凍として伸びていく。私たちは、あなたに光があたり、あたたかで、あなたがあなたのままでいられるように支えたい。

人には、未来の光があり、未来への道すじがあり、未来へとつながる希望があります。しかし、希望が顔を見せるのは、今を生きているところです。自らの過去を従えて。過去

にとらわれ、過去に縛られ、過去にしがみついているはいけません。今を生きるころでは、過去を従えているのです。過去は過去として自分に取り込み、乗り越えていくことが大切です。「“NEVER GIVE UP” 限界なんかはない、あきらめない」ことだと心に向かって言っています。

子どもセンターパオでは、シェルターの開設からステップハウスの開始へと進んできました。ステップハウスは、働くというプレッシャーなしに、まずは穏やかで心癒される日常生活を送る、そして、勉強や趣味、アルバイトなどやれることを増やして、自分に対する自信とやる気をつけてもらえるような施設をとという想いで作られました。今年、これをさらに大きくしようと、大移転計画をつくって進めています。このように環境を充実させながら、パオで出会う人たちと、共に歩んで行こうと思います。どうぞよろしく願います。

